

「池田小学校の下門・猿の子踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	指宿市立池田小学校
2. 学年・人数	全児童・24人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年5月11日(土) 3校時 体育館 令和6年6月8日(土) 2校時 体育館 令和6年7月13日(土) 2校時 体育館 令和6年9月14日(土) 2校時 体育館 令和6年9月27日(金) 1校時 校庭 令和6年10月3日(木) 1校時 校庭 (2) 発表の日時・場所 8月10日(土) 池田校区六月灯 校区玖瑠神社境内 10月6日(日) 池田小学校・池田校区公民館合同秋季大運動会 校庭
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 指宿市指定無形民俗文化財 下門・猿の子踊り(しものかど・さるのこどり) (2) 由来 今から約260年前、延享元年今和泉島津家島津忠郷が、日向国青島に立ち寄った際、旅芸人の猿使いの芸を見て非常に感心し、その猿芸を地元領民に見せたのが始まりと言われている。 (3) 構成等 6歳から12歳までの子供たちが真っ赤な頭巾、上着、ズボンの猿に扮して、様々な芸を披露する。参加する子供たちは約20人で、猿使いが2人いる。このイベントでは唄はなく、代わりに太鼓、笛、鉦などの鳴り物が使われる。猿は山の神や田の神の使いと考えられ、農耕作業を祝福する行事の要素が強く反映されている。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	子供たちの活動は下門地区に限定せず、地域全体とPTA会員の了承を得て実施している。学校は地域学校協働活動コーディネーターの協力を得ながら、保存会との連絡調整を行っている。この活動は、学校の教育活動として全児童が参加し、保存会を中心に下門地区の方々の全面的な協力を得て進めている。
6. 取組の様子(練習状況、発表の場等)	 保存会の方との練習風景  秋季大運動会で披露
7. 感想・意見 (参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	【保存会】 短い練習時間にもかかわらず、子供たちは一生懸命に踊りを覚え、しっかりと披露してくれた。 【児童】 練習を重ねるうちに少しずつ上手に踊れるようになり、地域の方々が喜んでくれてとても嬉しかった。 【教職員】 子供同士で教え合う場面が自然と生まれ、異学年で協力する活動が進んだことが非常によかった。